

2026年 いざ世界遺産登録へ！

「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産を紹介します

●高松塚古墳（たかまつづかこふん）

高松塚古墳は、7世紀末から8世紀初めに造られた終末期古墳で、墓室の構造や壁画、出土遺物が当時の東アジアとの最新の交流の影響を示しています。丘陵の斜面を造成して築かれた直径約23mの円墳で、墳丘は版築技法が使われています。比較的小さな円形であることや、漆塗り木棺が採用されていることから、皇族や有力貴族の墳墓である可能性が高いと考えられています。

1972年に行われた発掘調査によって、横口式石槨とその内部の極彩色壁画が発見されました。北壁には玄武、東壁には南から順に男子群像・青龍・日像・女子群像、西壁には南より男子群像・白虎・月像・女子群像がそれぞれ描かれています。特に男女群像の配置は中国の古墳壁画によく似ていて、高松塚古墳が中国の思想・美術・造形に強い影響を受けていることが分かります。ただし、四神図のうち朱雀は、12～13世紀頃の盗掘によって破壊されたため残っていません。

また、盗掘を受けていますが、石室内からは漆塗木棺片、金銅製透飾金具、海獣葡萄鏡、太刀外装具などの副葬品が出土しました。中でも「海獣葡萄鏡」は、唐で制作されたものであり、遣唐使が直接持ち帰ったとされています。



▲西壁女子群像



▲出土遺物一式
(提供：奈良文化財研究所)

●「飛鳥・藤原の宮都」世界遺産登録の瞬間を視聴できます！

問 世界遺産戦略課 ☎32-1016

7月19日（日）～29日（水）に韓国・釜山で開催される第48回ユネスコ世界遺産委員会において、「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録審議が行われる予定です。

世界遺産委員会の様子を下記の場所で皆さまにご覧いただけます。ぜひご視聴ください。

▶パブリックビューイング

- ・会場：橿原文化会館小ホール／明日香村中央公民館ホール
- ・参加費：無料 ※事前申込不要

▶オンライン配信

奈良県世界遺産室 YouTube チャンネル

▶開催・配信予定日

7月24日（金）～27日（月）のいずれか

※開催日時は、世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会HPに掲載



▲世界遺産「飛鳥・藤原の宮都」登録推進協議会 HP



▲奈良県世界遺産室
YouTube チャンネル